

Sendai-Dallas Young Ambassador Program Report 2013



2013 年
ダラス青少年訪問団
報告書

Organized by
Japan-America Society of Dallas/Fort Worth and Sendai International Relations Association
主催：ダラス・フォートワース日米協会/公益財団法人 仙台国際交流協会



✧ ✧ ✧ We are the 2013 Young Ambassador Students!



ダラス青少年訪問団 報告書

【編集・発行】 公益財団法人 仙台国際交流協会
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内
TEL : 022-265-2480 FAX : 022-265-2485
HP : <http://www.sira.or.jp>



もくじ CONTENTS

◇ はじめに GREETINGS	1
◇ 実施概要 PROGRAM OUTLINE.....	2
◇ 青少年団員名簿 LIST OF PARTICIPANTS	3
◇ 仙台市とダラス市の交流 HISTORY OF SENDAI-DALLAS EXCHANGE.....	4
◇ ダラス市について ABOUT DALLAS.....	5
◇ 出発まで PREPARING FOR DEPARTURE.....	6
◇ 日程表 ITINERARY	8
◇ 訪問先レポート DESTINATION REPORTS	9
◇ アメリカ体験 OUR EXPERIENCES IN AMERICA	13
◇ ホームステイ体験談 OUR HOMESTAY EXPERIENCES	17
◇ ホストファミリーから MESSAGES FROM OUR HOST FAMILIES.....	26
◇ アンケート&ミニエピソード SURVEY AND ANECDOTES	32
◇ 私たちの決意表明 WHAT WE LEARNED.....	33
◇ フォトギャラリー PHOTO GALLERY.....	35
◇ Tシャツについて T-SHIRT INFO	38
◇ ダラスからメッセージ MESSAGES FROM DALLAS	39
◇ 同行者より MESSAGES FROM OUR CHAPERONES	41

ごあいさつ

仙台市とダラス市（アメリカ合衆国テキサス州）は、平成9年（1997年）に国際友好都市となり、主に青少年交流を中心とした交流を続けてきました。

平成23年3月11日に起こった東日本大震災では、国内外から多くの支援をいただきましたが、その中でも、仙台市の国際姉妹・友好都市からは大きな、そして継続的な支援をいただきました。本事業はその支援の一環として、ダラス・フォートワース日米協会から実施の提案があり、TOMODACHI イニシアチブ(※)の助成を得て、本年度は仙台の高校生をダラスに派遣し、次年度にはダラスの高校生を仙台に迎える2年間のプログラムとして実際されることになりました。

今回ダラスを訪問した高校生は、学校訪問やホームステイ、同世代との交流を通して、震災支援に対する感謝の気持ちと、震災での経験や復興に向かう仙台の現状を伝えてきました。次代を担う青少年の相互理解が深まり、今後ますます交流の輪が広がっていくことを願っています。

最後になりましたが、事業実施にあたり、ご尽力いただきましたダラス・フォートワース日米協会及びダラス市側の皆様、TOMODACHI イニシアチブをはじめとする関係機関の皆様、仙台市側の関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

公益財団法人仙台国際交流協会 理事長 伊藤 敬幹

訪問を終えて

私たちダラス市青少年訪問団はTOMODACHI イニシアチブの支援を受け、7月23日から7月30日までの8日間、仙台市の国際友好都市であるアメリカ合衆国・ダラス市を訪問して参りました。

現地ではホームステイをしながら、現地の方や同年代の方との交流、日本文化の紹介を通じて異文化理解を深める貴重な体験をすることができました。

また、震災後にいただいた温かな支援への感謝の気持ち、少しずつではありますが、復興に近づいてきている現在の仙台の状況を伝えることが出来た良い機会になったと思います。

今後も私たちが両市の架け橋となり、更に友好を深めていけるよう尽くし、様々な活動に積極的に参加していきたいです。

ダラス青少年訪問団 団長 安田 佑哉



TOMODACHI イニシアチブとは、東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育・文化交流、起業支援、指導者育成といったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーに投資する官民パートナーシップです。日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協力的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。
ホームページ: <http://usjapantomodachi.org/ja/>

実施概要 -Program outline-

趣 旨	仙台市の国際友好都市であるアメリカ合衆国・ダラス市に高校生を派遣し、ホームステイをしながら、現地の青少年との交流や、日本文化の紹介などを通して、異文化理解を深める機会とする。また、震災後にいただいた支援への感謝や、現在の仙台の状況を伝える機会とする。
訪 問 先	アメリカ合衆国 ダラス市
実施時期	平成25年7月23日（火）～7月30日（火）6泊8日
主 催	ダラス・フォートワース日米協会（JASDFW） 公益財団法人 仙台国際交流協会（SIRA）
協 力	仙台市
後 援	仙台市教育委員会
参加人数	青少年9名、同行者2名
募集対象	仙台市にお住まいか通学している高校生等（平成25年4月2日現在で15歳～18歳の方）で下記の条件を満たす方 ※応募多数の場合は仙台市にお住まいの方を優先。 ①心身ともに健康であること。 ②国際交流、異文化理解に関心があり、訪問の趣旨を理解・賛同し、団体行動に参加可能であること。 ③定められた日程・旅行条件で参加できること。 ④すべての事前研修に参加できること。 ⑤保護者の承諾を得ていること。 ⑥過去に仙台国際交流協会が主催した海外派遣事業に参加していないこと。
事前研修	第1回 平成25年6月15日（土）両市の交流について、ツアー概要確認 第2回 平成25年6月29日（土）英会話レッスン、青少年体験談 第3回 平成25年7月13日（土）日本文化紹介・出し物などの準備
事後研修	平成25年8月19日（月） ツアーの振り返り、報告書作成、ラジオ収録
報 告 会	平成25年9月15日（日）仙台国際センターで開催された「せんだい地球フェスタ」にて発表

ダラス青少年訪問団員名簿 -List of Sendai-Dallas Young Ambassadors Students-

名前	ひらがな	性別	所属	学年
安田 佑哉 (団長)	やすだ ゆうや	男	宮城県仙台向山高等学校	2
金 あおい(副団長)	こん あおい	女	宮城県仙台第二高等学校	2
青島 礼圭	あおしま あやか	女	仙台青陵中等教育学校	4
岩渕 由佳	いわぶち ゆか	女	仙台白百合学園高等学校	2
小原 公太郎	おばら こうたろう	男	東北学院榴ヶ岡高等学校	2
熊谷 優太郎	くまがい ゆうたろう	男	仙台青陵中等教育学校	4
小林 梨乃	こばやし りの	女	常盤木学園高等学校	2
小松 茉由	こまつ まゆ	女	仙台白百合学園高等学校	2
錦部 莉菜	にしきべ りな	女	宮城県仙台第三高等学校	2



同行職員 -Chaperons-

名前	ひらがな	性別	所属
須藤 伸子	すどう のぶこ	女	(公財) 仙台国際交流協会 総務企画課 課長補佐兼企画係長
佐藤 麗	さとう れい	女	(公財) 仙台国際交流協会 総務企画課 企画係



仙台市とダラス市の交流

-History of Sendai-Dallas Exchange-

友好都市提携

平成9年（1997年）8月29日

提携の動機と経過

平成4年11月、当時のダラス市長スティーブ・バートレット氏が来仙し、ダラス市が仙台市と文化・教育・産業分野における交流を希望していることを表明。青少年交流、市民訪問団の相互訪問等約5年間の交流を経て、友好都市提携を行うこととなりました。

主な交流経過

- ☆平成9年（1997年）の友好都市提携後、数年ごとに公式訪問団や市民訪問団が相互の都市を訪問。
- ☆平成10年（1998年）から青少年訪問団交流がスタートする。
- ☆仙台国際ハーフマラソンに、友好都市の招待選手として毎年ダラス市から選手団が参加。
- ☆平成19年8月（2007年）友好都市提携10周年を記念して、記念彫刻「テキサスセレナーデ」が贈呈される。国際センターに設置する。
- ☆平成23年（2011年）3月東日本大震災後、ダラス・フォートワース日米協会が Sendai Relief Fund（寄付金活動）から仙台市のために支援をいただく。セント・リタ・カソリックスクールの生徒が集めた募金を、特別養護老人ホーム「杜の里」へご寄付いただく。
- ☆平成25年（2013年）5月、ダラス市主催の第3回 Wind Festival（風の祭典）に友好都市の代表として仙台風の会メンバー3名が招待される。
- ☆平成25年（2013年）7月日米草の根交流サミットオプション仙台ツアーでテキサス出身者をはじめとする11名が仙台を訪問。
- ☆平成25年（2013年）7月、TOMODACHI イニシアチブの支援を受け、ダラス青少年訪問団11名（高校生9名、同行者SIRA2名）がダラス市を訪問し、ホームステイによる交流を行う。



←2009年
青少年訪問団
とダラスの高
校生たち

ダラスから→
支援がたくさ
ん届けられま
した↓

2013年5月
Wind Festivalにて
仙台風の会による風
作りワーク
ショップ
←

ダラス市について -About Dallas-



ダラスは、アメリカ合衆国テキサス州北部にある都市です。
「ビッグD」という愛称を持つダラス市は、商業、流通、金融、製造業が盛んな米国中南部の拠点都市で、全米有数のコンベンション都市でもあります。また、「テキサスのシリコン・バレー」と呼ばれ、米国でも屈指のハイテク集積地区です。
プロスポーツも盛んで、多数のプロチームの本拠地となっています。
ダラスの歴史は1841年にジョン・ニーリー・ブライアンがトリニティ河畔にインディアンや開拓者相手の交易所を設置したことから始まりました。当時のダラス地域はテキサス共和国の一部でしたが、同国は1845年に米国テキサス州となりました。アメリカでも南部に位置し、全米で最もメキシコ系の住民が多く、様々な人種や民族が混在する国際的な都市です。



ダラス市の位置



ダラス市ダウンタウンの風景。
近代的なビルが建ち並ぶ。



市内にはミュージアムなども多い。



ダラス市旗



ダラス市章

ダラス市データ

人口：約 120 万人（ダラス市）
約 637 万人（ダラス・フォートワース連結大都市圏）
日中平均気温：夏(7月) 24.6℃ 冬(2月) 12.6℃
人種：ヒスパニック系 42.4%、アングロサクソン系 28.8%
アフリカ系 24.6%、その他 4.2%
プロスポーツチーム：ダラス・カウボーイズ、ダラス・マーベリックス、テキサス・レンジャーズ など

*2013 年 8 月時点

Preparing for departure 出発まで

事前研修

第 1 回 事前研修
6 月 15 日（土）

第 1 回目は、訪問を共にするメンバーと初めての対面で、少し緊張した様子でした。はじめに、自己紹介をしたのち、仙台市交流政策課の菅原係長からダラス市との交流についてお話をいただきました。また、訪問団の趣旨、ダラスからの東日本大震災支援などについても話をしました。
各役割なども話し合い、会も終わり頃にはすっかり仲良くなっていたメンバーたちでした。



First Meeting

第 2 回 事前研修
6 月 29 日（土）

第 2 回目は、英会話のワンポイントレッスンやダラス出身の ALT からテキサスのお話を聞いたり、他の青少年訪問団経験者からのアドバイスを聞いたりしました。メンバーは真剣に耳を傾けていました。
ダラスへのお土産にもした T シャツのデザイン担当は、ハム太郎に決定。
後半は、現地での日本文化紹介や、さよならパーティの出し物などについて話し合いました。



Second Meeting

なるほど～



第 3 回 事前研修
7 月 13 日（土）

第 3 回目は、ツアーの最終確認や、出し物の準備などを行いました。出し物は、歌と日本（仙台）クイズ、書道体験などに決定。係ごとに準備して、残りの時間は歌の練習を行いました。あおしーの提案で歌には日本の手話で振付けることに。現地で上手にいくかドキドキですが、みんなできるだけ練習を行いました。



Third Meeting

Preparing for departure

出発まで

日米 草の根交流

7/8（月）～12日（金）の日米草の根交流サミット・オブショ
ナルツアー仙台に11名のアメリカからの参加者が仙台へ来てくれました。
私たちダラス訪問団メンバーは7/10の交流会に参加し、ペリー提督子孫のマシュー
ペリー氏やアメリカに住む日系の方などとう会うことができました。交流会では、「ダラスで
は何をするの?」「将来の夢は?」など質問され、つたないながらも英語で話すことができ
ました。この会には、ダラス現地で通訳してくれたマークさんも参加しており、後に感動
の再会をしました。
報告：公太郎（ハム太郎）



突然の英語スピーチ
でドキドキの体験！



毎回サミット参加のペリー提督子孫のマシュー・ペリー
氏（一番右）とテキサス出身のマーク氏と一緒に。

市長表敬

7月18日（木）に仙台市役所にて、
仙台市の奥山市長へダラス出発前の表敬をしました。
奥山市長には、「東日本大震災の甚大な被害に対して、数多くの支援を
いただいたダラスのみなさんへ仙台市民として感謝の意を精一杯伝えてきたい。」
と皆で決意表明しました。市長が気さくに話してくださったので、ホームステイやダラスの
食べ物などについて話すことができ、楽しくもとても貴重な体験となりました。
5日後にダラスへ旅立っていると思うと、不安と大きな期待で胸がいっぱいでした。
報告：公太郎（ハム太郎）

Courtesy call at Sendai City Hall



奥山仙台市長と記念撮影



もうすぐ
ボクの番...

震災地支援の
感謝を伝えて
きます！

日程表 -ITINERARY-

	日付	時間	場所	スケジュール
1	7月23日 (火)	6:40 9:00 11:30 9:15 10:00	仙台空港 成田空港 ダラス・フォートワース (DFW)国際空港	仙台空港 集合。8:05国内線(ANA3232便)にて成田空港へ 成田空港着 TOMODACHIイニシアチブのワークショップ・出発式 アメリカン航空(AA176便)にてダラスへ *所要11時間45分 DFW国際空港着(同日着) ホストファミリーと対面、そのままホームステイ先へ。午後はホストファミリーと活動
2	7月24日 (水)	午前 午後 夕方	ダラス市内	パイオニア・プラザ散策 クライド・ウォレン公園でダラスの青少年とレクリエーション アートディストリクト見学 ●ペロット自然科学博物館(自由見学) ●シックス・フロアミュージアム、Dealey Plaza見学 ●ダラス市役所表敬訪問 (シェフィー・カディン議員、ジョン・スティッチ名誉領事に面会) ホストファミリーとホームステイ先へ
3	7月25日 (木)	午前 午後 夕方	フォートワース ストックヤード	フォートワースストックヤードへ出発 仙台の高校生から日本クイズレクリエーション ●テキサスカウボーイ記念館見学(ガイド付き)、キャトルドライブ見学 前駐日大使トーマス・シーファー氏と昼食(The Star Café) 乗馬体験 JASDFWオフィスに戻り、ふりかえりミーティング ホストファミリーとホームステイ先へ
4	7月26日 (金)	午前 午後 夕方	ダラス市内	●ジョージ・W・ブッシュ大統領センター ●サザンメソジスト大学(SMU) キャンパスツアー 昼食(Umphrey Lee Cafeteria) キャンパスでのランチ体験 TOMODACHIイニシアチブのディーン・ウィリアム筒井氏(SMU文理学部長)と面会 Pokey-O's Cookies & Ice Creamにておやつ ホストファミリーとホームステイ先へ
5	7月27日 (土)	終日	ダラス市及び郊外	ホストファミリーと自由行動
6	7月28日 (日)	午前・午後 17:00-20:00 夜	ダラス市及び郊外	ホストファミリーと自由行動 フラッグポールヒルパークパビリオンにてフェアウェル・パーティー 「上を向いて歩こう(日本語手話付)」、「幸せなら手を叩こう」合唱披露 日本文化体験(習字)披露 ホストファミリーとホームステイ先へ
7	7月29日 (月)	7:00 8:30 11:00	ダラス・フォートワース (DFW)国際空港	集合 DFW国際空港にてお別れ式 アメリカン航空(AA175便)にて成田へ *所要12時間55分
8	7月30日 (火)	13:55 18:55 20:05	成田空港 仙台空港	成田空港着 乗換え、国内線にて仙台へ(ANA3235) 仙台空港着、解散

●は訪問施設

※宿泊に関しては、高校生はホームステイ、職員はホテルとホームステイ

※集合場所へは、ホストファミリーが送迎。23日～26日はすべてバスで移動

Destination Reports

～訪問先レポート1～

SENDAI-DALLAS
YOUNG AMBASSADOR PROGRAM 2013

P Pioneer Plaza



パイオニアプラザ

パイオニアプラザは 4 エーカー（16190m²）よりもやや大きい広さの造園で、実物よりも大きいテキサスロングホーンの群れ（40頭分くらい）の移動を銅像で再現している。よくこんなに造ったなと思った。カウボーイがシャウニートレイルという小道に沿って牛追いをしている様子を表現しているそうだ。ロバート・サマーズというテキサス市民が制作したものだ。

隣接している墓地には、ダラス史初期頃やテキサス革命時の著名人、4人のダラス市長が埋葬されている。パイオニア（開拓者の意）ってそういうことか～、と納得した。（ハム太郎）

クライドウォレン公園

この公園は、ダラス市民と観光客の憩いの場として親しまれている。ジェームズ・バーネット事務所の設計により造られた公園で、5.2 エーカー（21040 m²）の広さがある。園内には数十カ所のエリアがあり、泉や劇場が設けられるなど創造的な場所で、レストランやペットを放し飼いにし遊べるスペースなど様々だ。多くはヨガや読書、野外コンサート、屋外シアターのために使われているようだ。

私達はここで地元の学生とアイスブレイキングとして、手をつないで知恵の輪などをした。ゲームを通して感じたことは、アメリカの高校生はスマートで大人びている印象が前からあったが、案外シャイな子もいて、人それぞれなのだと感じた。

比較的、高いビルディングや施設が密集している位置で、青々とした芝や広場があるところは、宮城野区にある榴ヶ岡公園と似ていると思った。（ハム太郎）



Klyde Warren Park

9

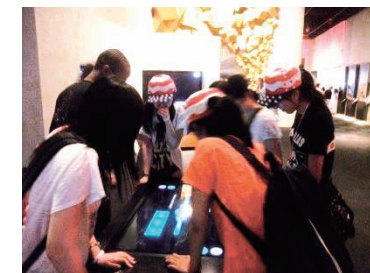
P Perot Museum of Nature and Science

ペロット自然科学博物館

ダラスのダウンタウンにオープンしたばかりのとても目を引く現代的な建物で、今ホットなスポットです。

新しい技術がふんだんに使われていて、化石や宇宙のしくみ、生態系、テクノロジー、地層などの展示のほか、体験コーナーもあり大変充実した博物館です。

展示品はもちろん、踏むと音の鳴る階段があったり、建物内の構造も沢山のアイデアがあったり、とてもインタラクティブな場所でした！（まゆ）



T The Sixth Floor Museum

T



The Sixth Floor Museum

ここは、1963年にこのテキサス州ダラスで暗殺されたジョン・F・ケネディの記念館です。

犯人がケネディを狙撃したとされるこの建物は、もとはテキサスの教科書倉庫でした。現在は、様々な資料が展示される博物館として保存され、世界中から多くの人が訪れています。

博物館では、若くして大統領になったケネディが国民からどのような評価をされていたのか、または暗殺の様子など当時の様子をより深く知ることができました。（まゆ）

10

Destination Reports ～訪問先レポート 2～

Dallas City Hall

ダラス市役所

私たちは、地元高校生やホストブラザー、シスターと共にダラス市役所へ行った。市役所へ着くと日章旗と星条旗が並べられているのを見て、場の重圧感を感じた。

ダラス市長の代わりに、シェフィー・カデイン議員とジョン・スティッチ名誉領事に奥山市長からの親書を渡した。団長が、友好都市にいる青少年として代表のあいさつをした。その後、私たちはダラス名誉市民賞をいただき、この訪問の意義を改めて考えさせられた。任命式が終わったあとは、本物の議事堂で記念撮影をした。訪問先の中で一番緊張する場所だった。(ハム太郎)



Stockyards Texas Cowboy Hall of Fame

ストックヤードとテキサスカウボーイ記念館

バスからストックヤードの街並みが見えたとき、これぞテキサスだと思った。道路や建物はレンガ造り。観光のために古い街並みを残している。ここでは、古くから家畜が盛んで今でも取引がされている。週末には牛追いが起源の競技「ロデオ」も開催される。

テキサスカウボーイ記念館では、主にテキサスの歴史や風土・文化について知ることができる。一番印象的だったのは、テキサスはかつて国家であったことだ。また、ホストファザーが言うには、テキサスに住む人はそのことを誇りにしているそうだ。記念館には、歴代活躍した方のトロフィーや馬具など普段見る事のできない展示品が数多くあり、タイムスリップして当時の馬車やカウボーイが行き交うこの場で暮らしてみたいと思った。(ハム太郎)



George W. Bush

SENDAI-DALLAS
YOUNG AMBASSADOR PROGRAM 2013

Presidential Center



ジョージ・W・ブッシュ大統領記念図書館

館内へ入る前に手荷物検査等をうけたので、それだけで重要施設であると感じた。

ブッシュ大統領の生い立ちや図書館設立についてなど聞くことができた。アメリカには、他にも、リンカーンやケネディ元大統領らの記念図書館もあり、こういった施設が多い。このように歴代大統領の功績を称え、任期中の公務に関する文書・資料を展示している施設は日本ではほとんどみられないと思う。展示品はやはり 9.11 同時多発テロに関するものが多かった印象がある。テロで崩壊した国際貿易センターの鉄骨が生々しかった。シアター展示などでは 9.11 の悲劇から立ち直ろうとするアメリカの結束力を感じ、3.11 の震災を思い出さずにはいられなかった。どんな有事にも国民が一丸になって取り組まなくては解決しえないことを学んだ。(ハム太郎)

Southern Methodist University

SMU (Southern Methodist University)

SMU は 1911 年に創設された私立大学です。構内の広さは日本の大学とは比べ物にならない程広く、中での移動にとっても時間がかかりました。施設は充実していて、学生寮が大学の敷地内にあり、ジムにはプールやロッククライミングができる仕様になっていました。

セルフ方式のカフェテリアにはアメリカらしい料理が並んでいました。就職活動にも力を入れていて全米で第 3 位の就職率だそうです。SMU はとても自然豊かで雰囲気の良い大学でした。(まゆ)



Our Experiences in America

～アメリカ体験 食文化編①～

Dallas “食文化”を楽しもう！

金 あおい



私が食べたものは、Cajun 料理(ケイジャン：アメリカ南部の家庭料理)、メキシコ料理、中華料理などで、他にも様々なジャンルの料理が楽しめて面白かったです。

〈Cajun Cuisine〉アメリカ南部料理



Shrimp のフライと辛いソースの炒め煮とピラフ。エビの味満載！

〈BBQ〉テキサスは BBQ 発祥の地



好きな肉や野菜を選ぶことができる。また残りは持ち帰ることができる。



〈Hamburger〉ハンバーガー

大きなサイズでナイフで切って食べました。



〈Chinese〉中華料理



小龍包、お焦げせんべいとスープなど目の前で作っていて美味しい！

Babe's の Fried chicken

大きくてジューシー美味しい！



Babe's T シャツ！



〈Farmer's Market〉ファーマーズマーケット



地元農家の人が野菜や果物や肉や加工品などを売っている。新鮮、手軽、信頼あり！細長い野菜、大きなじゃがいも、ジャム、オリーブオイルなども売っている。

〈Supermarket〉スーパーマーケット



売り場は大きな買い物ワゴンが通れるくらい広かった。売り場に売っているものも Big size！アメリカには souvenir（おみやげ）の習慣がないようで、小分けのパッケージはなく、多くの菓子が大きな package に包まれていた。アメリカのチョコは日本よりも甘い！



〈Fruits〉テキサスのフルーツ

ラズベリーや nectarine（無毛の桃）、アメリカンチェリーは甘くておいしい♡



〈Italian〉イタリア料理



イタリアの美味しいピザの店にも行きました！

Our Experiences in America

～アメリカ体験 食文化編②～

アメリカの食生活

錦部 莉菜



アメリカの中でも、特に私たちが訪れるテキサス州ダラス市の料理はとにかくボリュームーだ！と事前研修などで多く聞きました。現地で実際に食べたものを紹介します！

〈Mexican〉テクス・メクス



ダラスはメキシコに近い！それゆえ、アメリカンとメキシカンの融合料理「テクス・メクス(Tex Mex)」が有名です。テーブルにはチップス(トウモロコシで作られたポテトチップスのようなもの)が置かれます。他にもピリ辛のサルサやタコス、豆の燻製された物(色はあんこ、味は納豆っぽい??)を食べました。スパイシーなものが多かったです。

〈SMU Cafeteria〉大学学食



セルフ方式で食べ放題！ピザやホットドッグ、ケーキ、サラダバー、ドリンクバーなど、沢山の種類がありました。学生たちに混ざって頂きました。

Pokey-O's Cookies & Ice Cream のアイスサンド



ラズベリーアイスと
Pecan(ピカン)ナッツクッキー

三日目のおやつ。アイスをクッキーでサンドして食べる人気のアイス屋さん。選ぶのに迷ってしまうほど種類がある！私は子供たちに人気のライスクリスピーズを食べました。
(また食べたいなあ...♪)

〈Breakfast〉朝ごはん

ステイ先で異なると思いますが、私のステイ先はシリアルがメインでした。日本に比べ種類が豊富で、フルーツやパンと一緒に食べました。スクランブルエッグやカリカリに焼いたベーコンもおいしかったです。



まとめ

ダラスの料理はとってもボリュームー!! そしてとってもヤミー!! 時々日本食が恋になりましたが、ダラスには日本にもあって欲しいお店や商品が沢山ありました！また食べたいです。(* ヽ *)！
Do not mess with Texas!! (りな)

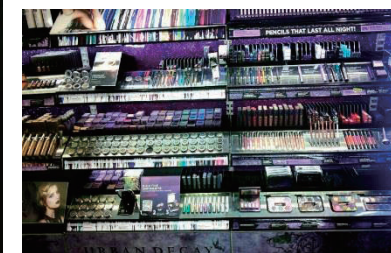
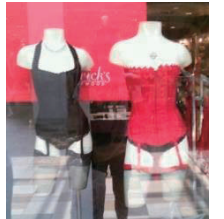
Our Experiences in America

～アメリカ体験 いろいろ編～

Fashion

アメリカのファッション

たいがいは日本と似たようなものが多いのだが、時たま「うわっ、セクシーですな」と思う服装もあった。あまり日本にはないような服が普通にショッピングモールで売っているのだから。服以外にも、メイク道具店の品そろえには驚いた。見ていてかなり



楽しくて、殆どが派手な色づかいでキラキラしていた。結論を言えば「みなさん、アメリカのファッションはあまり日本と変わらなかったからご安心を。つまりみんなアメリカレベルでおしゃれですよ。」

といったところだ。

Ayaka



一緒に過ごした American Kids (アメリカンキッズ)

バスで行動を共にした American Kids は、すごく大人っぽかったです。同い年かと思っていたら、実際は2、3歳年下だったり…!!

クライドウォレン公園では、身長や誕生日順に並ぶゲームや、時間内で紙コップをどれだけ高く積めるか…など仲良くなるためのゲームをしました。はじめはバスの中で、自然と日本人とアメリカ人に分かれて座りましたが、自分のホストではないアメリカの子と意識して座るようにしてから、一気に仲良くなる事が出来たと思います。言語が違っても、英語を完璧に理解する事は出来なくても、とにかく笑顔で相手と話すことが大切だなあと感じました。

American Kids



Yuka



Asking about 3.11

震災についての聞き取り

外国人が東日本大震災についてどのような印象を受けているか気になっていたもので、この機会にダラスの方々に聞き取りをしました。同世代の人たちは震災について知らないという意見がありました。あれだけの被害があったのにもかかわらず、多くの若い世代の人たちが知らないことには驚きました。それを伝えるのが私たちの役割でしたが、私自身、上手に伝えることができない時もあったのがやや残念でした。年配の方々は、あの深刻な事態をアメリカ国民は知るべきで、知らなければいけないと言っていました。そこから支援の輪が広がって、復興が進んでいけば良いと実感しました。



Yuya

Our Homestay Experiences

～ホームステイ体験談～

私達がどのような体験をし、何を学んだのか、ホームステイという環境の中で苦労したり、考えて行動したり…。それぞれ成長できたものになりました。

Rino



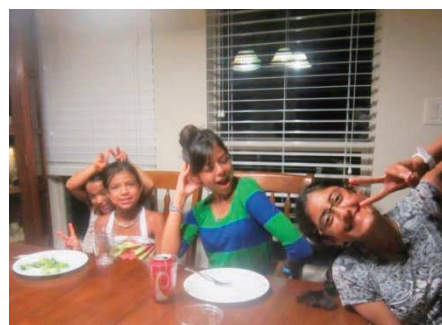
ホームステイ体験談

小林 梨乃

私は、インド系の 4 人家族にお世話になりました。ダラス市に来るのもはじめてで、ホストファミリーとは初対面ということもあり、とても緊張しました。しかし、みんな明るく、とても話やすく、最初に言われた一言が「Welcome Rino!」という温かい言葉で一気に緊張がほぐれました。とても親切にしてくださり、滞在での支えになりました。



そして、ホストファミリーとの生活が始まり、長く過ごしているうちに今まで聞いたことのない単語や質問されている内容がわからず、とても困らせてしまいました。



私は、英語は好きなのですが、ペラペラ英語が話せるわけではないため、今まで勉強してきた文法を使おうと思っても、言いたいことが言えなくて、とても悔しい思いをしました。でも、毎日毎日聞いていると「昨日もこのフレーズ・単語が出てきた、こんな時に使えばいいんだ」というひらめきがあり、とても楽しくなってきました。また、1 日 1 日過ごしていくうちにホストファミリーの人柄もわかってきて、英語でふざけて会話ができた時は、仲良くなれたと実感しました。

また、毎日色々な所へ連れて行ってもらいました。ボーリング、ロデオ、ゴルフ、映画館、買い物などに行きました。ロデオは、ダラスの名物でもあるので、見入ってしまいましたが、人が落ちた時に騒ぐのは、日本人にはないアメリカと日本の違いを感じました。

一番の目的であった「震災」についても、自分で本を持参して、説明を考えていたので、わかりやすく震災について伝えることができました。やはり、深くは知っていなかった様子でみんな衝撃を受けていました。知ってもらえて良かったです。

これからも、ダラス市と仙台市の交流が深まる様に私も協力していきたいと思います。



ホストファミリーとの体験

安田 佑哉（団長）

Yuya

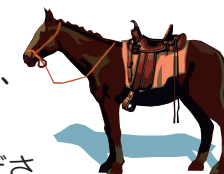


ダンパー（私）を受け入れて下さったホストファミリーは 3 人家族。優しく温厚で真面目なお父さん。クールで料理上手、いつも周りの様子に気を配ってくれるお母さん。そしてダラスでの生活のほとんどを共にした、やんちゃで、楽しいこと・食べることが大好きな一家の長男 J a i m e（ハイメ）。そんな素晴らしい家庭の下で貴重な体験をし、たくさんの思い出を作ることができました。ここでは語りつくせないで、その中から厳選して紹

介します！

まずはダラスの食事情を知り尽したハイメと、グルメなダンパーのアメリカンフード巡りについて（＾＾）ハンバーガーショップや BBQ ハウス、メキシカンレストランなど計 5 軒を巡った中で最も印象に残ったのはタコス専門店！J a i m e が “I LOVE TACO!” と言って僕にタコスについて熱く語りたくなる気持ちがよく分かる美味しさでした。今でもあのタコスを思い浮かべると、J a i m e 同様テンションが上がるうえ、J a i m e との思い出の数々がこみ上げてくる思い出の食べ物です。 “I LOVE TACO, TOO!”

またしても食べ物の話になってしまいますが、夕飯にとんかつとお好み焼きを作ったことについて。異国で和食を作るのには正直なところ、勇気がいりました。食材も思うようなものが手に入らず、おいしくできるかどうか、ドキドキでした…。しかし普段から料理している成果がでて、限られた食材の中で最高の料理を作り上げることができました。ナイフとフォークでお好み焼きととんかつを食べている様子は何とも不思議な光景でしたが、皆、目を輝かせながら、” Very good!!” “ Thank you very much! Yuya.” と言ってくれました。話したいことは山ほどありますが、残りは写真をご覧ください！

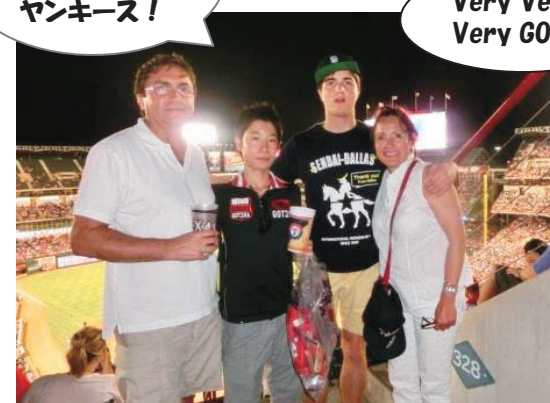


最後にホストファミリー 一家へ。

“Thanks to your kind invitation, I could experience valuable experiences.

Thank you very much. I will never forget you!”

レンジャーズ
VS
ヤンキース！



ダンパーのホスト Jaramillo ファミリー

Very Very
Very GOOD!



Jaramillo 家、長男のハイメ。兄弟のように 1 週間を共にしました。



ダンパーのために作ってくれたストロベリータルト！！



BBQ はテキサスに戻りたくなる味

Homestay in Dallas

Poi



金 あおい（副団長）

私は Anny Wong さん、Sara Banaszak さん、Koa という一匹の賢い犬の家にホームステイをした。フォートワース空港の近く、Irving の新しい住宅街。夜になると野生のうさぎが出てくる。お家のバスルーム、部屋などはとても快適だった。二人とも相撲や桜など、日本が大好きで、家には日本製の醤油やわさび、ソース、すだれなどたくさんあった。Anny さんは以前日本に住んでいて日本語が上手でびっくりした。私の体調を考えてくれ、現地の時間に合わせることが大事ということで、初日はとても長い一日だった。ホストファミリーとの自由行動は二日間しかないの、毎日たくさん話して触れ合おうと心がけ、たくさん質問した。実際に話すとなると単語が並び、流暢に話すことが難しかった。しかし、ゆっくりジェスチャーを使い、日本語を織り交ぜ色々な表現の仕方を親切に教えてもらい、やっと理解することが出来た。これからは英語をしっかり習得し、自分の意見をきちんと伝えもっと通じ合えるようになりたいと思った。

食事は Cajun 料理（アメリカ南部料理）、BBQ など多民族国家独自の料理を楽しみ、市場やスーパーなどのお店に行った。湖や建造物を見てテキサスの歴史や習慣や文化も教えてくれた。27日は人生初のセグウェイ体験、方向と速さを調節するのが面白かった。夜にはロデオを間近で初めてみた。会場は熱狂に包まれてとても迫力があつた。28日はアドベンチャーパークでターザンのようにロープを滑り降り、スピードと高さ、風、自然の景色を楽しんだ。



日本のお土産を渡し、自分の家族や、学校生活、仙台を紹介、我が家風ソーめんを作り、折り紙で立体の星を作る方法を伝授し、けん玉で遊んだ。日本のことを知ってくれて、喜んでくれてとても嬉しかった。フェアウェルパーティーでは浴衣を着て、震災の感謝の気持ちをこめ、わたしは speech をした後、皆の合唱に合わせてフルートを演奏した。みな温かく交流してくれ親睦を深めた。

Anny と Sara が好きな曲が入った手作り CD も三枚いただいた。日本とは違ったアメリカの曲やハワイの曲にも触れることができ、とても大好きになった。心に残っている言葉は CD の最後の曲にある、「It's my life. 新たな出会いや日々を大切に、挑戦の気持ちでこれから過ごし、自分の道を歩みたい。」荷物がお土産で満杯になり、帰りにはスーツケース 1 つをくれ、たくさんのお土産もいただいた。8 日間のホームステイではお世話になり、とても感謝している。



ダラス青少年訪問団としてこのツアーに参加し多くの人と出会い、アメリカの歴史や文化、習慣の違いなどを実際に直接触れ、学ぶことが出来た。自分自身の視野が広がり成長することができた。また、今回の訪問で、私の姉が 9 年前にダラス青少年訪問団でお世話になった、マロン恭子さんとご主人にもお会いすることができ、また交流を深めることができた。今後もホストファミリー、現地でできた友達、訪問団の仲間とずっとつながり続けていきたい。

ダラス青少年訪問団として、このような貴重な体験をさせていただき、多くの方に感謝している。ありがとうございました！ Thank you!

Mayu



ホストファミリーとの生活

小松 菜由

私がホームステイした Berry 家は、Mark さん（マーク・父）、Liz さん（リズ・母）、Robert（兄）、Lisa（リサ・姉）、Leslie（レズリー・妹）という家族構成でした。

<初日>

Leslie が運転する車で彼女の友達とドライブに行きました。お互いの学校の事や、好きなアーティスト等、まだ慣れない英語で一生懸命会話をしました。朝食はホストマザーが毎日美味しいマフィンを焼いてくれました。



<2日目>

大リーグの試合を観に行きました。球場はとてもお洒落で、地元のレンジャーズ対イチローが所属するヤンキース戦という事で生イチローを観ることができ、貴重な体験をさせていただきました。

<3日目>

今回の引率をしてくれた佐藤さんと須藤さんも一緒に、ステーキを食べながらダンスもできるとても素敵なディナーに連れて行ってもらいました。アメリカンサイズのステーキはとても絶品で、初めてのダンスも Leslie に教えてもらい、楽しいひと時を過ごすことができました。



<4日目>

Lisa と Leslie と彼女の友達と shopping に行き、それぞれのお店を見て回りました。日が暮れると“Drive in movie!” 名前から想像できるように、車の中から、外にある大きな白い壁に映し出される映画を観るという、アメリカの映画でしか観た事のないスタイルでの映画鑑賞を体験することができました。

<5日目>

ホストファミリーとの休日。ロデオを観に行きました。暴れる馬の上にどれだけ長く乗り続ける、子牛を捕らえて縄で縛る等競技は様々ですが、迫力があつテキサスらしいものでした。

<6日目>

テックスメックスの美味しいレストランに連れて行ってもらいました。家族から素敵なプレゼントをたくさんいただき、私も一生懸命書いた手紙を渡し、感謝を伝えました。

6 日間を振り返ると、私は色々な所に行き、様々な体験ができました。英語での生活は楽なものではありませんでしたが、英語学習の意欲が高まりました。来年は Leslie が来仙するようです。その時は Leslie とナチュラルな英語で話せるように頑張ります。



Yutaroh

ホストファミリーとの思い出

熊谷 優太郎



ホストファミリーとの初対面はダラス空港でした。

入国審査ですでに自分の英語の出来なさを痛感して、落ち込んでいる自分を温かく迎え入れてくれました。僕のホストファミリーは、4人家族でインド系の方でした。おばあちゃん、母、父、ブルジットは僕にアメリカでの生活を教えてくれました。



一番強く感じたのは、アメリカの夜は長いことです。僕は毎日様々な場所に連れていってもらいました。映画館、メディバル・タイムス、モール、遊園地、ポーリング、ホストファミリーの友達の家。時差ボケも特に無く、楽しむことができましたが、やはり英語力の無さがつらかったです。



たくさん話したくても、うまくしゃべれない。何を言っているのかはだいたい分かるようになってきましたが、自分からは話せない。僕は元気で乗り切る作戦に移行しました。

ホストファミリーは笑ってくれました。その笑顔を見る度に英語が話せたらなと思いました。

家での食事は朝ごはんはワッフル、夜ごはんは外食でした。ブルジットはゲーム、スポーツをするのが大好きで、家にいる時は一緒に「スマッシュブラザーズ」を、外に行ったら「バスケットボール」などをして遊びました。母、父には日本で撮った写真を見せたり、きゅーりーぱみゅぱみゅを紹介したりしました。お土産も喜んでくれて特にかきの種は Good と言われました。

本当にホストファミリーは優しくて、本当の家族のようにゆったりと過ごすことができました。これからも連絡を取り続け、またいつか Dallas に行って再会できることを願っています。ありがとうございました。ダラスねーな♡



私のホストファミリー

青島 礼圭

Ayaka



私の泊まり先は、Roseleah Rautert さんと Velda Rautert さんのお宅でした。

初めにお家にお邪魔させていただいた時は「きれい」「素朴」「良い匂い」という印象を持ちました。2人ともとても優しく、自分の家と思って使うようにと何度も言ってくれましたし、果物好きには嬉しいことに、スイカやサクランボなどたくさんのフルーツを車内でも家でも出してくれました。

ホストシスターの Velda さんはとてもシャイで静かな人で、私もシャイですから、殆ど喋ることができず、もっと自分から積極的に話していくべきだったと思っています。

日中の活動が終わり家に帰ると毎回疲れて寝てしまい起きたのが夜中という日もあったのですが、起きた後にホストマザーの Rosaleah さんは色々な映画をVHSで見せてくれたり、ドライブにつれて行ってくれたりしました。

中でも記憶に残っているのはロデオに行ったこととホストファミリーのお友達のお宅に遊びに行った時のことです。ロデオでは、とにかく歓声に驚かされました。いろいろなプログラムがあり、エキサイティングでした。2つ目の方は、Ballard 家に伺い、プールや湖で遊んだという思い出です。日本語ペラペラのお父さんのおかげでコミュニケーションをよくとることができました。家族の女の子たちとも趣味の方で意気投合し、さらに楽しいものとなりました。

ホームステイという初めての経験で、アメリカの生活、文化にたくさん触れることができました。日本に帰るのは淋しかったですが、この経験が私の人生の中で大きく役立つことを期待しています。ホストファミリーの皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



My first Texas!

小原 公太郎

Kotaro



私は小学4年生の時、父の仕事で一家で渡米したことがありました。

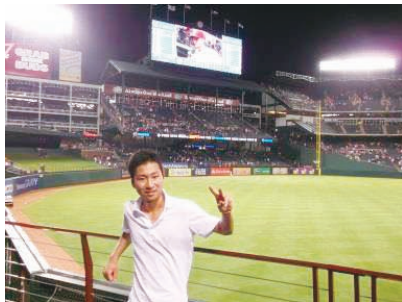
しかし、アメリカ人の食生活や休日・祝日の過ごし方などを経験したことがなかったので、ホームステイにとっても慣れていませんでした。今回はダラス市青少年訪問団の一員として、念願のホームステイを体験することができました。

私がお世話になったのは、Steinauer（シュタイナウアー）家でした。お父さんがアイルランド系で、お母さんと4歳、6歳の男の子がいました。長男のDavon（デイブン）君は野球少年で、二男のAiden（エイデン）君はとにかく元気のいい子でした。

渡米前にお父さんとメールでやりとりをしていたのですが、本場の野球を見るのが夢です！と伝えたところ、なんと地元レンジャースの観戦チケットをおさえてくれました。行く前から感動しっぱなしでした。



空港で歓迎を受け、ホストファザーとステイ先に向かいました。車中でさっそくお互いに質問をしました。「今日の気温は普通ですか？」「涼しいほうかな～（約40℃）」の会話や、逆に「仙台では何時に日が沈むの？」「もう薄暗いですよ～」などなど、初日から仙台との違いに驚きばかりでしたが、ホストマザーの手料理や子供たちの熱烈なハグ合戦にも酔いしれていました。



翌日、レンジャースのナイターに行きました。イチロー選手を観られたこと、強豪ヤンキースに勝ったこと、ホストファザーとブーイングしたこと、知らないおじさまとグータッチしたなど、夢を叶えられた幸せな一日でした。

それから、滞在中に気付いたこととして食事のお祈りを挙げます。ホストファミリーはカトリック信者で、初日のディナーでは十字架を切っていました。しかし、球場ではそのまま食べているのを見ました。おそらく、みんなで食卓を囲んで食事を始めるときがベストタイミングかなと思いました。それからは、お祈りの言葉を教えていただき、私も同じスタイルで食事をしました。

訪問先の全日程を終えてからは、ホストファミリーとの自由行動の日がありました。家族全員でアウトレットモールへ行き、ブランド物を買ったりしました。大きな湖でSkipping stone（水切り）をして遊んだり、町役場の立派な建物を案内してもらったりしました。

このままアメリカ人として残りたいとさえ思いましたが、私には母校の小・中学校でダラスで見聞きたことを伝えるという役割があります。後輩たちにもダラスに興味を持ってもらいたいです。他の友好姉妹都市や国々にも目を向けてくれたらな、と思っています。



ホームステイ体験記

錦部 莉菜

Rina



空港に着いたとき、ホストシスターのトリが「ようこそりなちゃん！」という手作りのボードを持って、緊張していた私を温かく迎えてくれました。トリは19歳で日本にとっても興味を持っている女の子です。優しくとてもしっかりしていました。ホストマザーのカレンはとても明るく面白いお母さんでした。猫のスタビーはとってもシャイですぐに隠れてしまいましたが最終日には私の部屋に来てくれました(*^_^*)

車に乗る時に気を付けようと思っていたのですが、すっかり忘れてに左に乗ろうとしてしまいトリに「違うよ！」と言われてしまいました。また、アメリカでは16歳から車を運転できることなどなど、やはりカルチャーショックを受けてしまいました（笑）

トリは料理が好きで一緒にフェアウェルパーティーに持っていくケーキを作ったり、お好み焼きを作ったりしました。とても美味しかったです。私もトリにちらし寿司を作ってあげたのですが喜んでもらえて嬉しかったです。また日本から持っていった、金太郎アメや扇子、巾着、じんべえなどのお土産もとても喜んでもらえました。



トリとショッピングに行ったり、家で映画を見たり、アメリカで人気な里芋味のタピオカジュースを飲んだりしました。ロデオにも連れて行ってもらえたのですが、トリは小さい頃から馬に乗っていたこともありロデオにとっても詳しかったです。ロデオは見ていてとてもハラハラしました。日本にはないスポーツだなあと思いました。

トリからは沢山のアメリカの文化について教えてもらいました。私はホームステイを通して、もっと日本について知るべきだと思いました。知っているようで実はあまり知らないというような事がありました。国際交流をする上で自分の国についてしっかりと知っておくことは欠かせないということが分かりました。またアメリカの人々は自分の考えをしっかりと持っていると感じました。日本では他人の考えに合わせがちとよく聞きますが、それは本当のことだと実感しました。

プロクター家の一員として過ごした時間。私にとって一生忘れることのないとても楽しい貴重な経験となりました。

Thank you very much!



Yuka



私の Second Family

岩瀬 由佳

“How was your flight?”

“It was very great!!”

“Yuka is so funny!!!”

これは、空港で初めて会った時のホストファミリーとの会話である。私はオーストラリア、ニュージーランドに続き今回が3回目のホームステイになるが、やっぱりホストファミリーと初めて会う時が一番緊張する。3回目だからと言って慣れたということは全くない。この「Yuka is so funny!!!」はホストマザーが大きな声でニコニコと笑いながら言ってくれた。この一言が、私にとって緊張と不安を一気に吹き飛ばす魔法の言葉となった。

私の家族はとっても明るくパワフルなマザーのAnn(アン)、私と同年で、身長が180は余裕で超えていると思われる笑顔が素敵なシスターのGabrielle(ガブリエル・16歳)、キャンプに参加していたため3日間しか一緒に過ごせなかったけれど、あっという間に仲良くなれたブラザーのIsaac(アイザック・13歳)の3人家族だ。みんな優しく明るくて素敵なファミリーだった。

ここには書ききれないくらいたくさんの色々な場所に連れて行ってもらった。特に心に強く残っていることは、GabrielleとGabrielleのお友達のRavenと3人でショッピングに行ったら最後に夜ご飯を食べた時の事だ。レストランで店員さんやその場にいたたくさんのお客さんが初めてアメリカに来た私のために歌を歌ってくれた時は感動して涙が出そうになった。その他にもパーティーに招いていただいた時に大きなステーキを食べることができたこと…♡ 別の日には、ステイ先だったSouthlakeの市長さんと市役所で会う機会を作って下さり、市長さんに私の将来の夢を話すと行政に携わる中で大切な事や大変な事のお話をたくさん聞くことができた。

ホストファミリーのおかげで、多くのアメリカの人々とふれあうことができ、わずか一週間で4人の同年代のアメリカのお友達を作ることができた。これからも、メールや手紙で交流をもち続けていきたい!♡そして、今回私を引き受けて下さった素敵なホストファミリーに出会えたことに感謝し、これからも大切にしていきたい。

私のホストシスターが、「私ね、来年Yukaと同じようなプログラムに参加して日本に行くことが決まっているの!」と嬉しそうに言っていた。今度は日本でGabrielleに会えたらどんなに素敵だろうと思う!! I love Earley family(*^o^*)!!



Messages from our host families!

私たちのステイ先として受け入れてくれたホストファミリー9家庭にインタビューをしました!

We interviewed the nine families who kindly hosted us during our stay!



①受け入れた学生の印象は?

What are your impressions of your exchange student?

②今回の受け入れで感じたことは何ですか? また、家族にとってどんな良い影響がありましたか?

What was the experience like? How did it impact your family?

③仙台(日本)についてはじめて知ったこと・驚いたことは?

Please share something you learned about Japan and/or Sendai from your experience.

④一言メッセージをお願いします!

What message would you like to give to your exchange student now?

Steinauer Family

シュタイナウアー家

Kotaro OBARA



①コウタロウは、実年齢以上に自信を持った大人の男性でした。とても親切で温かく、私たちの子どもと一緒に遊んでくれました。

Kotaro is a very mature young man with a self-confidence that is beyond his years. He also is very kind-hearted and spent time playing with my young children.

②子どもたちにとって良い経験となりました。たくさんの人々が異なる場所に住み、異なる言語を話すことに、子どもたちの目が開かれたと思います。また、ロデオ体験をしたコウタロウの笑顔はテキサス州と同じくらいビッグでした。

It was positive to my children because they get to experience a different culture while staying in their own home. I think it really opened up their eyes to world – that many people live in other places and speak different languages. Second was the rodeo. It was fun to watch the rodeo, but the best part was when Kotaro rode the mechanical bull. The smile on his face was as big as the whole state of Texas.

③仙台は「杜の都」という別名があるということを知りました。

We learned that Sendai has a nickname, The City of Trees.

④日本またはテキサスでまた会えることを楽しみにしています。

We look forward to seeing you again, whether in Japan, or in Texas.

Messages from our host families!

SENDAI-DALLAS
YOUNG AMBASSADOR PROGRAM 2013



Berry Family

ベリー家

Mayu KOMATSU

①大人としての振る舞いができる女性でした。

Mayu was a very well behaved young lady.

②私たち家族にもう一人、仙台の友達ことができました。ダラスと仙台のつながりがあるので、新しい友達を作り、そのつながりを築くことは私たちにとって重要です。

We've made another friend from Sendai. Since we have a Japanese connection, it's always important to make friends and to have those connections.

③マユの高校がカトリック教で、仙台にカトリック教の高校があることを知りませんでした。放課後まっすぐ帰宅することを学校から求められていることにはビックリしました。お店やスターバックスに寄り道をするのができないのはビックリ。

I was surprised to learn that Mayu attended a Catholic high school. I didn't know Sendai had a Catholic high school. Another interesting thing about her school is that the students are requested to go directly home after school. No shopping or Starbucks.

④ダラスにも家族がいることを知ってほしいです。将来、マユと再会したいですね。

I'd like Mayu to know she has an extended family back here in Dallas. We hope to see her in the future.

Brar Family

ブラー家

Rino KOBAYASHI

①一緒にいるのが楽しく、新しいことを学ぶことに好奇心があり、マナーの良い日本文化大使です。

Rino was very well mannered and fun to be with. She was very curious to learn new things. We would say that she was very well mannered ambassador of the Japanese culture.

②今回でホストファミリーは 2 回目で、娘（Seeret・シレット）が前回より交流することができ、この 2 回目がさらに楽しいものとなりました。リノと Seeret はとても仲がよくなりました。お互いの言語を教え合ったり、BBQ をしたり貴重な体験でした。

This was the second time we have hosted an exchange student. It was even more fun this second time around. She tried to teach us Japanese and we tried to teach her Hindi! We also had a barbeque at our home.

③リノは辛い津波の体験を語ってくれました。感動したのは、そういった厳しい状況にも関わらずストイックな寛容さがあること。

Rino recounted the harrowing time they had to undergo during the Tsunami. What was impressive was, despite the magnitude of their struggle, their stoic acceptance.

④英語をたくさん覚えて、良い成績を修めて、旅行して、笑顔を絶やさずに。リノをホストして本当に楽しかった。また来てね。

Learn a lots of English. Get good grades. Keep traveling. Keep smiling. We really enjoyed hosting you Rino. Please come again.



Chatterjee Family

カタルジー家

Yutaroh KUMAGAI

①とても行儀がよく、洞察力と冒険心があり、愉快で、いつも物事を覚える意欲がありました。

Yutaroh was very polite, observant, funny, adventurous and always eager to learn.

②初めてホストファミリーとして経験しました。私たちの 16 歳の息子（ブルジット）にとって、同じ年頃の全く違う文化を持つ少年と交流できたことはユニークな経験となりました。

This is the first time we have been a host family. For our 16-yr old son, it was a unique experience to interact with someone of his age from a completely different culture.

③日本の一般的な高校生活について知りました。また、ユウタロウはお好み焼きを作ってくれました。それ以来、お好み焼きは私たちの家で日曜日のランチの定番メニューとなっています。

We learned a lot about schools and general students life. Yutaroh cooked Okonomiyaki for us one day. Now it has become a popular item in our household for Sunday brunch.



④ユウタロウと彼の家族がテキサスに来ることがあれば、いつでもどうぞ！

Our home will always be open for Yutaroh and his family whenever they come to Texas again!

Rautert Family

ラウテルト家

Ayaka AOSHIMA

①アヤカは一緒に居てとても楽しい人でした。またいつでも来てほしいです。

Ayaka was a delight. We would have her again anytime.

②素晴らしい経験となりました。娘のヴェルダは感情を表に出すタイプではありませんが、アヤカを受け入れたことに対し私たちにとっても感謝していると伝えてくれました。

It was a wonderful experience. Velda didn't show her emotions, she was thanking me for inviting Ayaka to stay with us.



③アヤカは仙台のパンフレットを持ってきてくれて、それはとても素晴らしかったです。たまに今でもそれを見えています。

Ayaka brought some brochures of Sendai, and it is so beautiful. Once in a while I still look at them.

④一緒に居てくれてありがとう。そしておいしいごはんを作ってくれてありがとう。

Thank you for staying with us. Thank you for the delicious food you prepared.

Messages from our host families!

Earley Family

アーリー家

Yuka IWABUCHI

①ユカは、エネルギッシュで思いやりがあり、優しく、活発で人を惹きつける魅力のある子でした。

Yuka was energetic, warm, fun, engaging, AND KIND-SPIRITED.

②ホストファミリーとしての経験は、私たちに良い影響を与えてくれました。ユカに居心地がよく、温かい環境を整えようと、チームワーク力を発揮しました。

It positively impacted our family because we worked as a team, strategically, in all of our preparations to deliver a warm and loving environment to Yuka!

③ガブリエラ、ユカ、アイザックは家でカップケーキを作りました。ユカはそれまで、そんなケーキは作ったことがないと言っていました。それから、ユカは私たちの名前を日本語で書いていました。とても素晴らしいと思いました。

Oh my....Gabrielle, Yuka and Issac baked candied-eyes cup cakes at home. it was a terrific and unique memory! Yuka said she had never baked before. Yuka also wrote each one of our names as we sat around the living room and adored her abilities.

④アメリカに来てくれてありがとう。心からまた会いたいと思っています。

Yuka, thank you for coming to America! We really want to see you again.



Anny & Sara's Family

アニーとサラの家

Aoi KON

①とても丁寧で、知的で好奇心旺盛、新しい体験に非常にオープンでした。

Very polite, intelligent and curious young woman. She was very open to new experiences and adventures

②彼女がアメリカ社会をどう見ているか、話を聞けるチャンスがありました。

It was a chance to talk and hear about their views of U.S. society.

③アオイはきゅうりと鶏肉ソースで夕食にざるそうめんを作ってくれ、とてもおいしかったです。その後、もう一度ざるそうめんを作りました。

Aoi made zaru somen with a canned chicken dipping sauce and lots of julienned cucumber in a dinner she prepared for us. That was great. We loved it. We have made it again since.

④一生懸命勉強して、充実した生活を送り、チャンスを逃さずに。世界を発見し、新しい考えを日本に持ち帰ってください。

Study hard, always enjoy life, take a chance, and continue to discover the world and bring new ideas back to Japan.



Jaramillo Family

ジェラミロー家

Yuya YASUDA

①彼はとてもおもしろく、またとても大人でした。私たちはそれに大変感心しました。

We thought he was very fun but also very mature. We were very impressed.

②佑哉との最も楽しかった思い出は、彼と一緒にコンサートへ

行ったことです。佑哉にとって人生初めてのコンサートだったようで、とても楽しんでいました。

The most fun thing that we did with our exchange student was going to a concert with him. It was the student's first time at a concert of any kind and it was very exciting for him.

③仙台では美しい光のページェントが開かれ、日本中から人々が訪れるということを知りました。

I learned that Sendai has a beautiful festival of lights that is visited by people from all over Japan.

④佑哉、あなたは本当に素晴らしいです。佑哉のような素晴らしい人をホストできたことは私たちにとって誇りであり、とても幸せなことです。

Yuya, you were a blessing to our family and it was an honor hosting such a good and genuine person such as yourself.



Proctor Family

プロクター家

Rina NISHIKIBE

①リナは居心地が良く、身の回りのことに深い興味を示す知的で優しい女の子でした。

Rina is a bright, intelligent, and sweet girl that shows great interest in her surroundings.

②お互いの言葉や食べ物などの文化を学び、共有しながら楽しむ

ことができました。Hosting Rina was a wonderful experience. We enjoyed learning from each other and sharing culture, language, and food.

③仙台についてたくさん学びました。リナは毎年行われる七夕についてたくさん教えてくれました。いつか必ず見に行きたいと思っています。

I learned much about Sendai. For example, Rina told me about the large Tanabata festival the city has each year. I would very much like to see it someday.

④リナちゃん、学校生活のすべてがうまくいくことを願っています。大学に入れるように頑張って勉強してください。私（トリ）が、早稲田大学で来年勉強したら、仙台を必ず訪れます！一緒に七夕に行きましょう！

Rina-chan, I hope you're doing well in all your classes. I hope you're working hard to get into University. If I study abroad at Waseda next year, I'll definitely visit you in Sendai! Let's go to Tanabata together!



同行者も3日間ホームステイを経験しました！

Messages from our host families!



Levenberg Family

レーベンバーグ家

Nobuko SUDO/ Chaperon

伸子は優しい女性で、一緒に過ごした時間はとても楽しかったです。彼女は仙台での生活や、震災後、人々がどのように団結したかを話してくれました。仙台の伝統や、そこに住む人々の生活についてなど、いろいろな話を聞くことができました。私たちが尊敬し、今も受け継がれている日本の伝統文化についても話してくれました。最後の日、他のホストファミリーや学生達に会うことができました。

学生達はとても優しく、礼儀正しかったです。彼らが払ってくれた敬意にとっても感心しました。夫のラリーは、出張で日本に行くことがありましたが、私もいつか一緒に日本を旅行したいと思います。私達の友人、伸子との再会を願って。

Nobuko is such a sweet lady and we thoroughly enjoyed having her in our home. She taught us about life in Sendai and told us how you pulled together to rebuild after the earthquake. She taught us about your traditions and how families live in Sendai. She told us about your traditions which you still honor and which we most admire. On the final day of stay we were able to meet the students and other host families. Your students are so sweet and polite. The respect that they showed us was so endearing. My husband Larry has been fortunate to travel to Japan for business and one day we hope to travel there for pleasure. We most look forward to seeing our friend Nobuko.



Michael and Mike's Family

マイケルとマイクの家

Rei SATO/Chaperon

素晴らしい体験でした！マイクと私はレイにダラスを案内し、日本人の学生たちと会えたことは楽しかったです。日本文化についてたくさん知り、日本に新しい友達ができただけでなくとても良かったと思います。私たちはSIRAとダラス・フォートワース日米協会の交流プログラムに参加することができて非常に嬉しく思っています。新しい友達ができ、日本文化について知ることができ、

アメリカ南部のホスピタリティと共に素晴らしい時間を過ごすことができました。近い将来仙台を訪れたいと思っています。そして、このプログラムに必ずまた参加させていただきたいです。

It was great! Mike and I really enjoyed showing Rei our city and meeting the Japanese exchange students. We learned a lot about Japanese culture, and it's great to have made new friends in Japan! Mike and I are very glad to have participated in the SIRA / JASDFW exchange program! We made a great new friend, learned about Japanese culture, and had a wonderful time sharing our Southern hospitality. We hope to visit Sendai soon, and we would definitely participate in the program again!



帰国後に訪問団へアンケートを取りました。体験談では書ききれなかったミニエピソードなどをまとめました！

アンケート&ミニエピソード Survey and anecdotes

訪問先 Best3

1位

ストックヤード

カウボーイのような乗馬体験は日本では絶対にできない体験（りの、あやか）

2位

シックスフロアミュージアム

ケネディについて詳しく知ることができた（まゆ）

3位

ダラス市役所

仙台とダラスの架け橋になれたと感じた（くま）



ホームステイ中のエピソード

☆ステーキを食べながらダンスをするという日本では見たことのないレストランに連れて行ってもらった（まゆ）

☆桜でんぷでおにぎりを作って！と言われて少し焦りましたが、クックパッドで調べておいしく作れました（りな）

☆シャワーの温度調節の仕方がわからず、ホストシスターに実際やり方を見せてもらって解決した。我慢はせずに色々な手を使って意思表示はすべきです！（ゆか）

☆ホストファミリーがインド系の家庭でインド系の人達のパーティに連れて行ってもらった（くま）

学生たちとの交流について

☆移動中のバスの中で、隣の席になったのがきっかけでおしゃべりをした。公園でのアイスプレーキングでも打ち解けられたと思う（りな）

☆時間をかけて深く交流し、もっと仲良くなりました（あおい）

☆仙台クイズは伝わらない部分もあって残念だったが、プレゼントがあったので、喜んでくれた（ゆうや、りな）

出し物について

☆さよならパーティで披露した「上を向いて歩こう」は皆知っているかと思ったが、そうでもなく意外だった（ハム太郎）

☆習字をした際、ホストファミリーの名前を漢字（当て字）で書いてあげたら、とても喜んでくれ、家に飾ってくれた。一番体験してほしかったことだったので、嬉しかった！（ゆか）

ダラスの学生たちに紹介したいこと

☆ホストシスターが青少年訪問団として来たら、今度は自分がホストファミリーになりたい（ゆか）

☆仙台市の学校に来て交流してほしい。できれば、自分の高校！（くま、あおい）

☆仙台のプロスポーツ（ハム太郎）

☆一番町のひょうたん揚げ。あとは、震災についても知ってもらいたい（りな）

その他の感想

ホストマザーから、出かけた場所や出会った人々など、毎日娘の様子を知らせるメールが届きました。忙しい方と聞いていましたが、長いメールでとても温かいものでした（ゆか・母）

After the program...

事後研修

帰国後...

Final Meeting

事後研修
8月19日(月)



帰国後、ダラス訪問した感想をみんなで共有し、振り返りをしました。今後の決意表明をそれぞれ発表し、報告書の内容や、9月15日の地球フェスタ・ダラス報告会案を考えました。ラジオのため、ダラス訪問団についての話も収録をしました。収録は、ちょっと緊張！

きいて!!

私たちの決意表明 "What we learned!"

実際にアメリカに行き、国際的な仕事に就きたいという思いが強くなった。これからももっともって語学力を高めて外国人の方と交流の機会がある時には積極的に参加し、この研修に参加して学んだ事や経験を生かしながら夢に向かって進んで行きたい!!!((o(*▽*)o))
(ゆか)



今回の体験で、海外への興味と、仙台市の国際関係について興味を持ちました。将来は、海外の人と一緒に仕事ができるような会社で働きたいと思いました。そのために今できることは英語を身につけること。このコミュニケーションツールが使えるようになれば、世界は広がる。そう確信しました。

もっとホストファミリーと話したい。入国審査を朝飯前と言えるようになりたい。今回感じた悔しさをバネに英語の勉強を頑張ります。佐藤さん、須藤さん、ありがとうございました。ダンパー、はむ、まゆ、あおしー、にっしー、ゆかりんこ、こんちゃん、りのていん、これからもヨ・ロ・シ・ク・ネ♡(くま)

今回の滞在では様々な異文化体験、交流を通じて、日本では学ぶことのできないことを多く学び取ることができました。このような体験をすることができたのは、私たちをサポートしてくださった、たくさんの方々のおかげです。訪問は終了しましたが、かかわってくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、更にダラス市との友好を深めていけるよう、皆で、そして個人で努力していきたいと思います。
(団長：ゆうや)



今回の国際交流を通じてもっと英語を話せるようになりたいと強く感じた。アメリカや日本の文化についても深く学び、将来、仙台、宮城そして日本を代表する国境の架け橋になりたい。いつかこの訪問団で再びダラスにおもむき、今回お世話になった方々へ感謝を述べたい。
(りな)



ホストファミリーと過ごした時間の中で、感じた事は自分の英語力の未熟さです。将来の夢はまだ漠然としていますが、日本だけでなく、国際社会の中で活躍できる強い女性になりたいと思っています。



その為に多くのことを学び、必要なスキルを身に付け、英語の上達を図り、その夢を叶えることの出来る大学に通い勉強することが必要だと考えています。今回の訪問でまた1歩、夢へと近づけたような気がします。
(まゆ)

ダラス市民の方々に会う機会が沢山あったので、自分の感謝の想いを伝えることが出来た。ホームステイも異民族が一つ屋根の下で「暮らす」ことで、食生活や慣習、宗教など、学べるものが数多くあった。帰国後、友人にダラスでのことを話すととても興味を示してくれた。そう、わたしはダラスと国際交流について友人や後輩達に発信する役目があるのだ。ダラス以外の友好・姉妹都市、あるいは仙台にゆかりの無い国でもいいので次へ次へと視野を広げてほしい。(こうたろう)



異文化交流というのは自分の考え方、世界が広がる種になる素晴らしいものだ。今回の交流を通じこの目で見えてきたものを今後の活動に活かし、日本と他国をつなぐことに貢献していきたい。(あやか)



日本にとどまらず、国際的な視野を持ち、互いの文化や考え方を理解したい。又、自分の考えや気持ちを英語で表現し、積極的に会話できるよう努めたい。これからも仙台とダラスのつながりを深め、よい関係を築いていきたい。
(副団長：あおい)



ダラスメンバーはみんな優しい人でした。またこのメンバーでダラスへ行き、ダラスと仙台的長くて太い架け橋になり、ダラスと仙台がもっともっと親交を深め、お互いが大変な時、即座に助けられるように私達が協力し、これからの未来につなげていきたいです。これからは、色々な交流がまたあると思いますが、その時は、必ず参加したいと思います。(りの)







Photos by Jarvis Jacobs and Robin Mallon

Tシャツについて T-shirt Info



ダラス訪問団
副担当
赤坂恵利加

カッコいい
でしょ！
僕のデザイン★



仙台市を象徴する伊達政宗公のシルエットに、ダラス市旗の星を重ねたデザイン。1997 年来、友好都市である両都市の関係を図案化しました。SENDAI-DALLAS や Thank you from SENDAI, FRIENDSHIP CITY など仙台とダラスの結びつきをアピールするロゴを、デザインの中に多く加えました。後ろは、今回の私たち訪問団を意味する YOUNG AMBASSADOR 2013 に日章旗と星条旗のプリント (by 赤坂さんデザイン) を使いました。ホストファミリー、ダラス市長、同行して下さったガイド、カメラマン、各協会の方々など、訪問団からの感謝のしるしとして渡しました。(デザイン担当：ハム太郎)



ダラス訪問団の副
担当です。Tシャツ
作成しました☆

TOMODACHI Tシャツ



渡航前に
TOMODACHI
Tシャツで
記念撮影！
イエイ！



今回の訪問にあたり、TOMODACHI イニシアチブからも、”TOMODACHI Tシャツ”をいただきました。赤と青のマークで、まさに“ともだち”が握手をしているようなデザインがカッコいいです。ダラス訪問団も、自分たちが作ったTシャツと TOMODACHI Tシャツを毎日、誰かは着ていました。(同行者：さとう)

Messages from Dallas

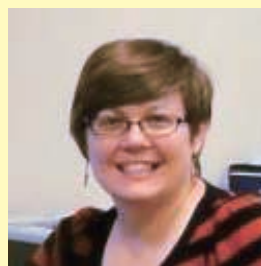
私たちがダラスでお世話になった方はホストファミリーではありません。実施前の準備から現地まで、沢山お世話になったダラス・フォートワース日米協会のみなさんからメッセージをいただきました。



ダラスフォートワース日米協会 常務理事 アンナ マクファーランド

ダラス青少年訪問団の皆様
仙台という素晴らしい都市から、テキサスを訪問していただきありがとうございました。皆様の訪問は、私にとって心温まる思い出となりました。あなたたちのグループは、才能に恵まれ、エネルギッシュで、熱心で、個性豊かな活力に溢れていました。仙台、そして日本を代表する大使として、とても印象に残る団員たちでした。将来、両都市、両国間で強い絆を築き継続してくれることを願っています。いつの日かまた、ダラスに来てください！

*Dear Sendai Young Ambassadors,
Thank you for visiting Texas from the wonderful city of Sendai! I have warm memories of your visit. Your group had a lot of personality – very talented, energetic, enthusiastic, and full of life! You were outstanding ambassadors of Sendai and Japan. I hope you will continue to build strong ties between our two cities and our two countries in the future. Please visit Dallas again someday!*
Anna McFarland/Executive Director
Japan-America Society of Dallas/Fort Worth



クリスタル サンダー
東日本大震災のとき、私は日本に居ました。そのため、仙台の復旧への道はとても困難だということをわかっています。ですが、皆さんの強い精神力を見て、仙台の未来はきっとまた明るいものになるだろうと実感しました。皆さんが充実した豊かな生活を送ることが、だれもが受けることのできる「感謝」だと思います。2013年ダラス青少年訪問団の皆さんがダラスを訪れてくれたことを、とても嬉しく思っています。これからもずっと笑顔で輝き続けてください。

*I was in Japan during the Great East Japan earthquake and tsunami.
So, I understand the difficult the road to recovery for Sendai.
But when I saw your strong enthusiasm, I realized that Sendai's future will be a very bright one.
Seeing you enjoy life to its fullest is the best thank you anyone can receive.
2013 Young Ambassadors I am so glad you visited Dallas.
I hope you continue to smile brightly forever!*
Chrystal Sanders



Messages from Dallas



ジャービス ジェコブス
何事にも熱心で、平等であり、いつも笑顔で、思いやりがあり、気配りができ、若々しく、そして、寛大なあなた達は人類の未来の宝です。あなた達は私たちに灯台のように光を与えています。

Studios, Collegiate, Euphoric, Compassionate, Attentive, Youthful, Presidential are the Ambassadors of Mankind's future. Ambassadors are shining towering lighthouses to all mankind.
Jarvis Jacobs



カメラマンとして同行してくれたジャービスさん



恭子 マロン
今夏灼熱の太陽の下で、ピカピカに輝いているみなさんにエネルギーをチャージしてもらいながら、フォートワースのツアーやお別れ会のピクニックなどを、一緒に楽しませていただきました。短い間でしたが、みなさんにとってもよい思い出になったことを願っています。

考えてみると、ダラス仙台青少年大使の活動を知ってから早十数年！その間に私自身世話役として仙台を訪れる機会に2度も恵まれ、たくさんの方に会い、貴重な体験をさせていただきました。また、今回は私が初めて会った青少年大使、金はるかさんの妹あおいさんがダラスに来て、とても感慨深かったです。皆さんとの出会いも一期一会ではあるけれど、またお会いできたら素敵ですね。青少年大使の皆様、ダラス・仙台の友好と友情がこれからもずっと続いていくように、どうぞよろしくお願いしますね。皆様のますますのご活躍を期待しています。



↑ 2004年のダラス青少年訪問団に参加した金はるかさん・右（あおいお姉さん）



↑ 今年のダラス青少年訪問団に参加したあおいさん（そっくりです!）



ロビン マロン
ダラス滞在を楽しんでいただけたと願っています。写真を見ると、フォートワースのストックヤード地区に行ったときのことやホワイト・ロック・レイクでバーベキューをしたときのことを懐かしく思い出します。
Hope everyone enjoyed visiting us in Dallas. Looking at all the photographs from the Fort Worth Stockyards and the White Rock lake BBQ brings back fond memories.
Robin Mallon

こちらもカメラマンとして同行してくれたロビンさん

同行者より-Messages from our Chaperones -



東日本大震災が発生してからというもの、被災地の子ども達を励まし、成長を応援するための海外招待事業が数多く実施され、これまでにない規模で多くの子ども達が世界の様々な国を訪問しています。仙台市もミンスク市と台南市からの支援を受けて高校生や大学生を派遣してきました。

ダラス・フォートワース日米協会・仙台委員長のマーク・ベリーさんから「仙台の高校生をダラスに呼ぶためのファンドに応募したい」という連絡があったのは平成24年9月。派遣まで1年を切っていました。同時期に他の訪問団も予定していたため準備が間に合うか不安はありましたが、ダラス市とは青少年事業を中心に交流してきた経緯もあり、決定まで時間はかかりませんでした。

ダラス市滞在時はいつも「全泊全員ホームステイ」が基本で同行者も例外ではありません。ほぼ同年代のホストファミリー夫妻に迎えていただき、子どもの頃にかえた気持ちでホームステイを楽しませていただきました。そして今回ダラスを訪問した9名！全員が高校生とは思えないほど積極的で、自分の目標を持ち、キラキラした個性にあふれたメンバーでした。今回の経験をいかして、世界に羽ばたき、活躍してほしいと願っています。最後になりましたが、今回の訪問にあたり、長い期間準備をしていただいた皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(公財) 仙台国際交流協会 須藤 伸子

SIRA でダラスの担当になって4年目。今回初めて現地へ訪れることとなりました。いつもメールをしているアンナさんはじめ、ハーフマラソン仙台委員長のマークさんなど、私たちを温かく迎えてくれ、とても楽しく過ごすことが出来ました。

ダラス到着直後、入国審査官の早くて聞き取れない英語に動揺する高校生たちの中、「これでビビってはいは、将来1人旅なんてできないですね。」と団長。すでにたくましさを感じ、今後いろんなことを吸収していくだろうなと頼もしく感じました。

高校生は全日ホームステイで、移民の国アメリカならではの多民族、多文化に直に触れ、またテキサスのおおらかな優しさに触れた6泊8日間は、一生の宝物になったはずです。それは、同行した私も同じで、人生初のホームステイを経験。高校生以上に楽しみ、「ダラスにいつでもおいで。」と言ってくれるサザンホスピタリティ溢れる友人が出来たことは、私にとってこの旅の何よりの収穫です。

今回の9名は、仙台市とダラス市の交流の大使として、また2011年3.11震災後に立ち上がったTOMODACHI イニシアチブのアルムナイ（卒業生）としても、今後大きく活躍してくれることでしょう。それぞれの将来が本当に楽しみです。最後に、ダラス訪問を無事に笑顔で終えることが出来たのも、元気いっぱいこの9名と、ダラス・フォートワース日米協会の皆さん、ホストファミリーの皆さんのおかげです。ありがとうございました！



(公財) 仙台国際交流協会 佐藤 麗